

森林環境譲与税対象事業の令和7年度実績について

1. 令和7年度の実績

令和5年3月に策定した雲南市林業振興ビジョンの実現に向け、3つの基本方針である「森林を活かす（森林整備）」、「森と木で稼ぐ（森林・木材利用）」、「人を育てる（人材育成・確保）」を基軸とし、施策展開を図っている。

事業名	事業の概要	決算見込み額 (千円)
森林整備・木材利用促進等事業	① 森林整備推進員の配置：3,491千円 ② 各種研修開催：993千円 （木材流通に関するワーキング会議33千円、森林と地域産業をつなぐブランドづくり勉強会287千円、森林整備に関するワーキング会議243千円、森林GIS研修デジタルツイン利活用ワークショップ430千円） ③ ゾーニング・森林整備に関するワーキング会議（集約化区域の森林現況調査、GISデータ整備、林業事業体の事業収支の算定及び施業提案書作成手法検討等） 全体会議3回開催（5/14, 6/17, 12/9） 会議とは別に事業体への個別支援を実施 現況調査の実施及び資源解析データを用いた事業コストと木材収益の試算を実施 ③ 木材流通に関するワーキング会議（木材流通戦略の検討） 1回開催（10/15） 森林認証に係る勉強会1回開催（12/5） 昨年度実施した木材流通調査結果から今後の木材生産計画、市場把握、需要に応じた木材生産に向けた事業の進め方を検討 ⑤ 木材利用に関するワーキング会議の開催 3回開催（6/18, 11/11, 3/11） 広葉樹利用、商品開発、製材支援等の事業について販売戦略や企業間連携について検討 ⑥ 木材流通・利用に関する視察：971千円 木材利用推進に係る加工施設視察、森林GISフォーラムなど ⑦ 新たな森林管理システム推進業務委託3,434千円 森林経営推進センターへの委託により森林整備WGの支援などを実施 ⑧ 広葉樹等の地域産材利用促進に関する調査業務：5,968千円 広葉樹流通のコーディネート等を委託 原木ベース約126 m³を県外へ出荷、GPU・製材所連携出荷体制の構築等を実施 ⑨ 林地台帳システム保守管理・改修業務：1,043千円 （保守業務486千円 改修業務557千円） ⑩ 島根大学共同研究：3,975千円 （研究題目：森林計画の高度化に関する研究）	50,911

	森林体積による蓄積量（材積）の推計及びAIを用いた空中写真からの樹種判読の研究 令和2～3年度に市で撮影した航空写真やレーザ計測データを分析し、林業事業体の提案書や住民座談会で市民に提示するGISデータの作成などの支援も実施 ⑪森林現況調査業務：1,804千円 住民座談会に向けた森林資源解析に必要な現況調査を地上レーザ計測により実施 航空レーザ計測では取得が難しい胸高直径や正確な本数を把握 ⑫数値地形モデル作成業務：7,282千円 2016年の航空レーザ計測データと地形モデル作成を委託。集約化に向けた基礎データとして整備 今後の林業事業体の提案書作成や災害リスクの評価に使用し、住民座談会などで活用予定 ⑬島根県森林クラウド利用料：230千円 島根県が応用地質に発注し整備した森林クラウド利用料 ⑭森林調査用アプリケーション利用料：1,654千円 集約化区域や島根大学との共同研究の森林調査を地上レーザ計測で行い点群解析などを実施 画像解析により前年度から森林の状況が変化（伐採）した場所を抽出し違法伐採の確認などに使用 ⑮森林経営計画作成支援システム利用料：3,300千円 林業事業体と市がクラウドにより森林経営計画等の施業計画などを共有し、認定するためのアプリケーションにより、過去の施業履歴や集約化に向けた施業候補の森林情報のデータ整備も実施（⑭のGISアプリケーションと連携） ⑯公共施設への市産木材使用木製品品の整備等：3,164千円 広葉樹の市産木材を使用した家具を整備 地上レーザ計測器整備（⑩⑪の調査に使用） ⑰製材業生産力強化対策支援事業費補助金：1,090千円 製材用機械等導入支援事業 3件 535千円 製材用資格取得支援事業 2件 147千円 木材商品開発支援事業 1件 408千円 ⑱林業・林産業人材配置支援事業：11,764千円 10件 木材製品販売促進や⑮アプリケーションのクラウドでのデータ作成、点群データ分析などを実施 ⑲消耗品費：574千円 ⑳その他普及活動、イベント関連経費等 172千円	
林道維持管理（森林整備・木材利用促進等事業）	維持管理費用：11,959千円 （主に崩土撤去等の修繕2,272千円、路肩・路面修繕等の工事9,460千円、支障木伐採等228千円）	11,959

森林整備推進事業費補助金	① 新植支援事業 8 件 17.07ha 3,414 千円 ② 保育（下刈・除伐）支援事業 54 件 51.88ha 1,953 千円 ④ 既存作業道の簡易改良支援事業 3 件 700m 200 千円 ⑤ 原木搬出作業道開設支援事業 10 件 8,448m 8,448 千円 ⑥ 木質バイオマス搬出支援事業 3 件 1043.32 t 3,127 千円 ⑦ 保育間伐支援事業 1 件 2.67ha 74 千円 ⑧ 森林再生支援事業 5 件 2.29ha 134 千円 ⑨ 里山整備支援事業 1 件 381 千円 ⑩ ICT 機器等導入支援事業 3 件 895 千円 ⑪ 鳥獣被害地復旧対策支援事業 0 件 0ha 0 千円 ⑫ 林業種苗供給力強化支援事業 3 件 1,070 千円 ⑬ リモートセンシング技術活用支援事業 5 件 299.8ha 7,443 千円 ⑭ 高性能林業機械リース支援事業 1 件 541 千円	27,680
林業担い手確保・定着支援事業	① 新規林業従事者確保支援事業 8 件 1,124 千円 6 人 ② インターンシップ受入れ支援事業 ③ 中型免許取得支援事業 6 件 276 千円 4 人 ④ 自主企画研修支援事業	1,400
森林バイオマスエネルギー事業	森林バイオマスエネルギー事業業務委託：4,927 千円 （委託料 10,982 千円うち 4,927 千円） 市民参加型収集運搬システム運営・里山券管理業務・里山券 換金・登録者及び林業技術講習会・バイオ炭関連・バイオ啓 発イベント開催等	5,050
森林整備環境保全整備事業負担金	令和 7 年度県営林道整備事業負担金：2,000 千円 路線名：入間本谷線 （L=5,255m 内新設 3,970m・W=3.5m 内車道 3m）	2,000
森林環境整備基金造成	航空レーザ計測・航空写真撮影・森林現況調査によるデータ整備、森林整備等実施のための基金造成	3,371
合 計		102,371

2. 令和 7 年度実施の主な事業実績

（1）ゾーニング・森林整備に関するワーキング会議

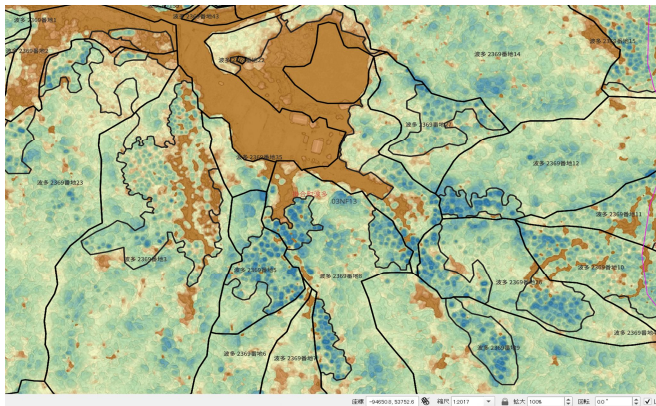
市内林業事業体を集めた会議等を行い、今後林業振興ビジョンの目標の達成に向けて、集約化区域の森林の施業優先度の考え方の整理や施業提案書作成方法を検討した。

森林経営推進センターの支援を受け、航空レーザ計測データの解析により森林の地形や資源量を集計した地図情報を整理し、各事業体の集約化区域の事業計画の対象となる森林のゾーニングや提案書作成の方法について検討した。この結果を基に、今後森林の調査や施業提案書の作成に取り組み、住民座談会などで森林所有者との合意形成を進めていく。

○関連する主な事業と今後の展開

- ・島根大学共同研究（研究題目：森林計画の高度化に関する研究）

航空レーザ計測データと航空写真を分析し森林の体積と材積の関係性を明らかにするとともに、生長量を時系列で分析し土地の木材生産能力を評価し、各林分の整備方針の参考データを作成するための研究を実施した。



住民座談会で林業事業体が森林所有者に提示する資料作成に向けて、森林の体積からの材積の推計と航空写真と表面の形状からAIによる樹種判読なども実施して、精度検証を進めている。

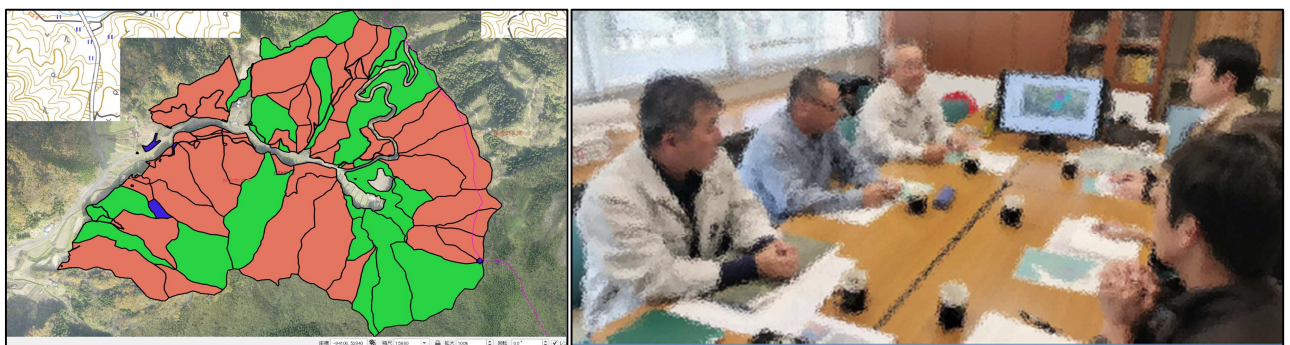
住民座談会で林業事業体が森林所有者に提示する資料作成に向けて、森林の体積からの材積の推計と航空写真と表面の形状からAIによる樹種判読なども実施して、精度検証を進めている。

(2) 住民座談会による施業計画の検討（集約化区域の林業事業体との検討）

効率的かつ効果的な森林整備・木材生産の事業を進めるため、森林所有者などの地区住民と森林組合、合同会社グリーンパワーうんなん、うんなんコミュニティ財団、市担当者が集まり森林の施業計画を整備することを目的とした座談会を開催した。

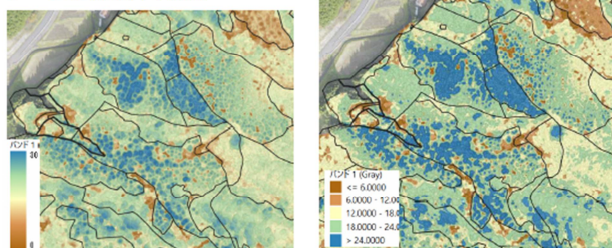
令和7年度は航空レーザ計測や地上レーザ計測及び広葉樹の現況調査の分析結果により森林の現況の説明を実施しており、今後林業事業体からの施業提案や広葉樹の製材用原木の生産、作業道の開設方法の検討などを実施していく予定としている。

【住民座談会 資料データ及び開催状況】



合意形成に向けたデータ整備例（1）

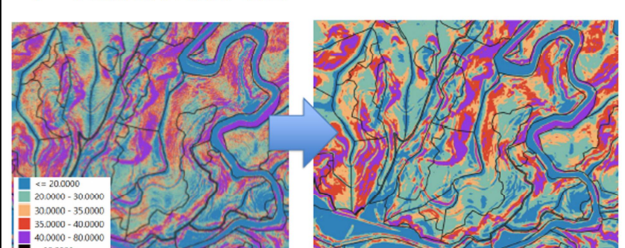
データ整備項目：樹高



一定以上の高さだけわかるように色をつけると施業対象の林分が可視化できる（樹高大きい→材積多い 地域内相対評価が可能）

合意形成に向けたデータ整備例（2）

データ整備項目：傾斜区分図



DTM 25cm SLOPE
ピクセルサイズ小さすぎると色が入り
乱れてわかりにくい

3 m程度の平均傾斜で路網線形検討
プロセッシングツール r.neighbors
Average 13windows circle で処理
…色分けは30度以上が目立つように設定

(3) 木材利用に関するワーキング会議の開催及び広葉樹等の利用促進の取組

木材利用に関するワーキング会議を開催し、合同会社グリーンパワーうんなんや市内製材所及びオムロンソーシアルソリューションズ株式会社と連携した広葉樹の原木の生育状況の調査や製材板の販売体制の構築を進め、原木ベースで126 m³を県外へ出荷した。

【広葉樹林生育状況】



【広葉樹の製材板出荷状況】



(4) 森林整備推進事業費補助金

- ・新植支援事業：8件 17.07 ha
- ・保育（下刈・除伐）支援事業：54件 51.88 ha
- ・既存作業道簡易改良支援事業：3件 700 m
- ・原木搬出作業道開設支援事業：10件 8,448 m
- ・木質バイオマス搬出支援事業：3事業体 1,043.32 t
- ・保育間伐支援事業：1件 2.67 ha
- ・森林再生支援事業：5件 2.29 ha
- ・里山整備支援事業：1件
- ・ICT機器等導入支援事業：3件
- ・林業種苗供給力強化支援事業：3件
- ・リモートセンシング技術活用支援事業：5件（レーザ計測等 299.8ha 程度）
- ・高性能林業機械リース支援事業：1件